

## 令和5年度第2回 名取市自転車活用推進協議会 会議録

### 1. 日時

令和6年1月17日(水) 14:15～16:30

### 2. 場所

閑上公民館

### 3. 出席者

別添名簿のとおり

### 4. 傍聴者

0名

### 5. 説明事項

#### 1) 実施施策及び個別事業について

#### 2) 自転車ネットワーク路線について

#### 3) 将来像や評価指標について

- ・ 事務局より実施施策及び個別事業、自転車ネットワーク路線、将来像や評価指標について説明。

#### 4) 質疑応答

(小松委員)

レンタルサイクルについて、どのような体制になっているのか。

(事務局)

名取市サイクルスポーツセンターと名取駅コミュニティプラザで貸し出しを行っている。

(小松委員)

乗り捨てはできるのか。

(事務局)

現在はどちらも借りた場所へ返す仕組みとなっている。

(森委員)

仙台亙理自転車道について、震災で貞山堀の所が潰れてしまい、仙台市内部分については整備されたが、名取から南側はルートを変えて整備すると聞いていた。今回の自転車ネットワーク路線図には記載しないのか。

(事務局)

仙台亙理自転車道については、宮城県で内陸側にルートを変更して整備しているが、現在完了していないため、嵩上げ道路である閑上南北線をルートとしている。

(森委員)

いずれ目鼻が付けば自転車ネットワーク路線図に記載されるのか

(事務局)

お見込みのとおり、いずれルートの見直しの時期等になれば記載する。

(光岡委員)

KPI 指標について、自転車関連事故件数は人身事故の件数か。自転車が違反して加害者件数になったものなのか。

(事務局)

宮城県警で発表している統計を拾ったものである。

(光岡委員)

名取市内のデータとして載っていた件数ということか。

(事務局)

そのとおりである。

(光岡委員)

KPI 指標の事故関連件数について、自転車の利用者を広げていくと、一般的に分母が増えればそれに伴って交通事故の件数は増えてしまう。これを目標設定にすると著しく悪化しているように見えてしまう。抽出が難しいかもしれないが、自転車ネットワーク路線で示した幹線路線に限るなど縛りをかけないと、ここ10年の範囲での事故件数で拾っていきこうとすると、安全安心の評価が達成されないのではないかと懸念がある。

(事務局)

指標について検討したい。

(佐々木委員)

KPI 指標の環境・健康分野について、サイクルスポーツセンターの自転車利用者数となっているが、他市、他県の利用者もいるため、大雑把な指標になってしまうのではないかと。もう一つの指標は市内の企業としている。市内に分けることができるのかということはあるが検討はいかがか。

(事務局)

市内市外に厳密に分けてはいない状況であり、利用者が増えれば相対的に市内の利用者も増えているだろうという整理で考えている。再度精査したい。

(坂口会長)

名取駅の駐輪場について、実際に利用しているが、老朽化を感じる。また、駐輪スペースが無いため、無理矢理駐輪している。通期通学で利用する駅周辺の整備については、計画に入っているけれども良いのではないかと。中心拠点であり、推進していることが分かりやすいと思う。

(事務局)

駐輪場については、民間の駐輪場もある。現状では利用率が厳しい状況ではない。設置年数や老朽化は担当課に確認したい。

(坂口会長)

自転車を詰めて駐輪しており、相当良くはない状況である。

## 6. グループワーク

- 観光分野、環境・健康分野、安全・安心分野の3つに分かれてグループワークを実施。
- 以下意見内容。

### 【観光分野】

- 自転車で名取に来たい、名取に来てから自転車で回りたいなど、観光する人の中でも利用者層が分かれるため、ターゲットを考えることが重要である。
- サイクルバスについて、自転車とバスの強みを活かして、自転車で通ることが不安な箇所については、自転車を乗せてバスを利用するなど、使い分けが出来れば良い。
- 良好な景観形成について、目的地までの途中に楽しめるポイントがあると良い。せり田の風景や自転車でしか行けない場所があれば目的地までの途中で楽しめる。
- かわまちてらす閑上までの行き方を良く聞かれるため、自転車の利用に繋がると良い。サイクルステーションについては、かわまちてらす閑上で協力できるだろう。
- おもてなしの充実について、自転車の歓迎ムードを作る必要がある。名取トレイルセンターに空気入れの問い合わせがある。自転車で周遊する際のパンクや故障の不安を取り除けるようにすることが必要。

### 【環境・健康分野】

- 自転車自体を利用しやすくなるように行政側でワンストップ窓口のような自転車に関して一括してわかるような窓口を設置してはどうか。
- スマホでGPSから自分の位置とルートが連動して見えるものやLINEで道路の不備状況がわかるものなどがあると良い。
- 自転車通勤導入の促進について、市役所が率先して自転車通勤を行うことで、自転車利用普及促進となり、事業者に広げる視点があると良い。
- サイクルイベントやサイクルスポーツについて、しまなみ海道など全国的に知られるイベントを作ることが重要。そういったイベントが市内で行われていることを市民に認知してもらい、日常的な自転車の利用に繋げていくことが重要。

### 【安全・安心分野】

- 自転車ルール・マナーの啓発について、子供たちへ安全教室を警察も力入れていきたい。自転車のルールは複雑で難しいため、どのようにして周知していくかが重要。
- 子供たちが危険と感じた箇所の安全マップは有効ではないか。名取市でも自動車による交通事故箇所のマップはあるが、自転車事故についても表示して充実させたい。
- 地区ごとの交番だよりがあるが、地区内の自転車事故がどういう所で起こっているか共有するのも効果的ではないか。
- 注意喚起の看板設置について設置主体は交通安全協会だと思うが、協会の加入が減っている中で、財源の確保が難しい。協会の加入についても考えていかないといけない。
- サイクルサポーターについて、ルールを守って頂くよう指導する方が自転車ルールを知って

もらうことが重要であり、研修などが必要。

- 思いやりステッカーについて、自転車を追い抜けない場合、渋滞が発生すると、運転手が焦ってしまう、許容できる環境を作っていければ良い。
- ヘルメット助成について、令和6年度からスタートとしているが、高校生のヘルメット着用が低いため、どう増やすか課題。
- 歩行者をはねて損害賠償を負った事案もあるため、リスクを負わない取り組みも必要。
- 避難時の自転車利用自体は有効ではないか。避難支援物資の運搬については洪水や津波など災害の種類によっては活用できない。活用できるフェーズがあるため、フェーズを明記することで有効に自転車を活用できたら良い。

## 7. その他

- パブリックコメント実施後の3月に第3回目を開催予定。
- パブリックコメントの実施にあたっては、今回の意見を反映しながら会長と調製して実施することを説明。

令和 6年 1月 24日

会 長           坂口 大洋